

# F ブレーキ

---

## PB パーキングブレーキ

パーキングブレーキ .....	2	・点検 .....	3
・車載上の点検、整備 .....	2	・パーキングブレーキシュー .....	4
・構成図 .....	3	サービスデータ .....	6
・取り外し、取り付け .....	3	・パーキングブレーキ .....	6

A

B

C

D

E

**PB**

G

H

I

J

K

L

## パーキングブレーキ

PFP:36010

### 車載上の点検、整備

JFS0025Y

#### 踏みしろ

- パーキングブレーキペダルを 196N { 20kg } の力で操作したとき、踏みしろが規定のストローク量の範囲にあるか点検する。

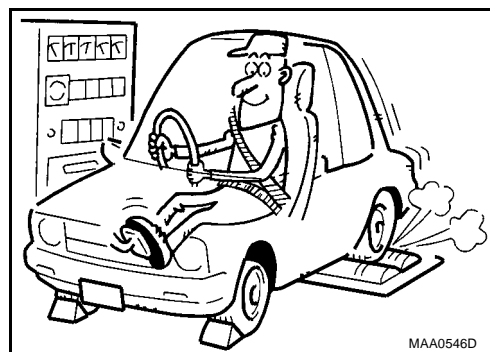
踏みしろ : 3 ~ 4 ノッチ

#### パーキングブレーキのきき具合

- ブレーキテスターを使用して、後輪制動力が規定値となっているか点検する。

制動力 : 車両重量の 20% 以上

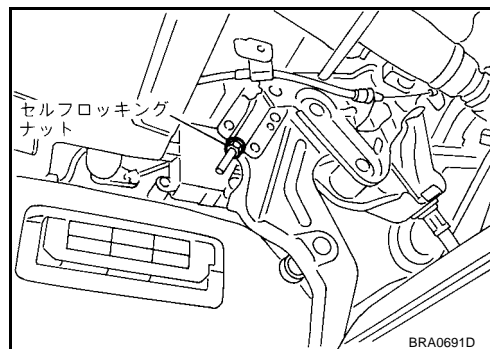
操作力 : 490N { 50kg } 以下



MAA0546D

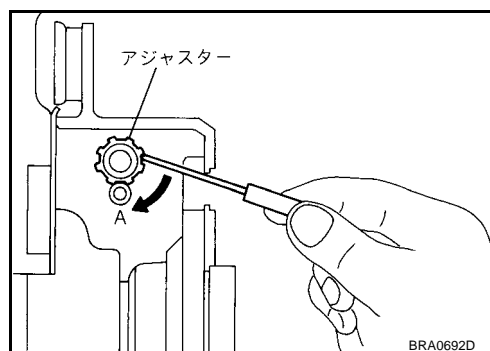
#### 調整

- セルフロックングナットをディブソケットレンチを差し込んで回転させケーブルを十分緩めペダルを戻してから、リアのシュークリアランスを調整する。
- ロードホイールを取り外す。
- ディスクが傾かないように、ホイールナットなどを用いて、ディスクをハブに固定させる。



BRA0691D

- ディスクに取り付けてある調整穴プラグを取り外し、ドライバーなどでディスクがロックするまでアジャスターを図の A 方向に回す。ロックした状態から、アジャスターを逆方向に 5 ~ 6 山もどす。
- ディスクを回転させて、引きずりがいいことを確認し、調整穴プラグを取り付ける。
- リアのシュークリアランスを調整後、リヤブレーキの引きずりがいい状態で、ケーブルの調整を下記の手順で行う。



BRA0692D

a. ペダルの操作力 294N { 30kg } で 10 回以上操作する。

b. ペダルをディブソケットが入る位置まで踏み込み、ディブソケットを差し込み、セルフロックングナットを回転させてペダルのストローク量を調整する。

**注意:** セルフロックングナットは再使用不可部品のため、取り外した場合は再使用しないこと。

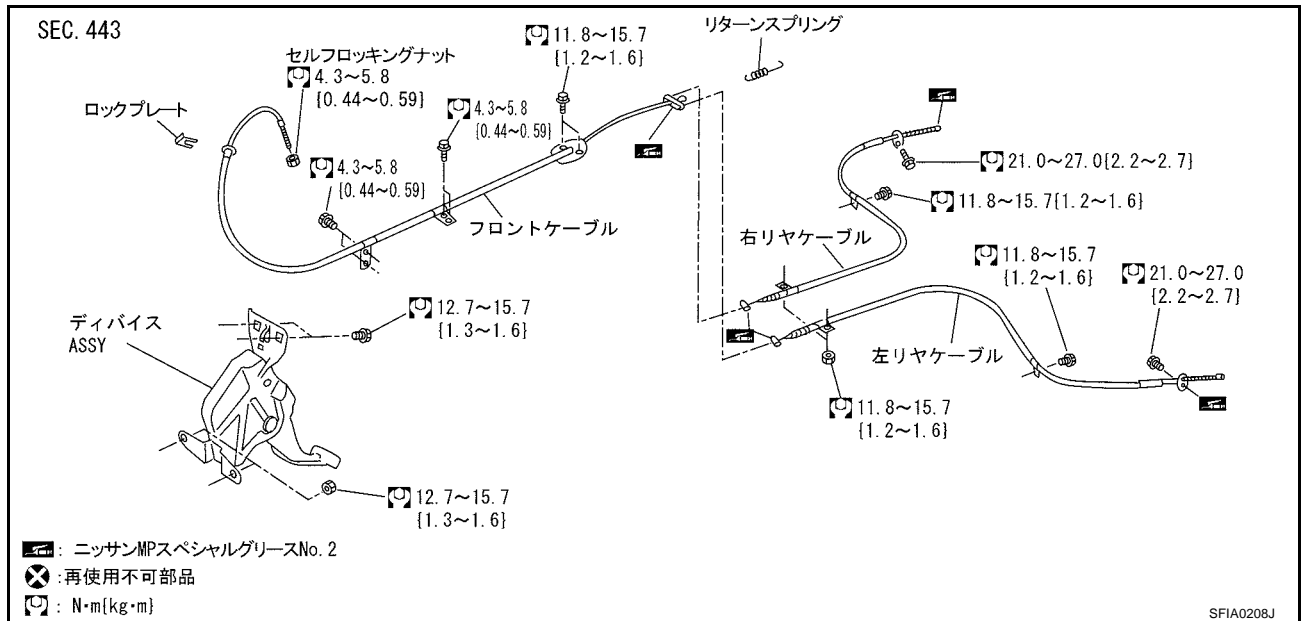
c. ペダルを操作力 196N { 20kg } で操作したとき、ストローク量が規定値になっていることを確認する。

d. ペダルを完全に戻した状態で、リヤブレーキの引きずりがいいことを確認する。

# パーキングブレーキ

## 構成図

JFS0025Z



## 取り外し、取り付け

JFS00260

### 取り外し

1. インストロアドライバーパネルを取り外す。「インストルメント ASSY」の「[取り外し](#)」(IP-5 ページ)を参照すること。
2. センターコンソールを取り外す。「インストルメント ASSY」の「[取り外し](#)」(IP-5 ページ)を参照すること。
3. デバイス ASSY のセルフロックングナットを取り外す。
4. エキゾーストセンターチューブを取り外す。
5. プロペラシャフトを取り外す。
6. リヤディスクキャリパー及びディスクローターを取り外す。
7. パーキングブレーキシューを外し、トグルレバーよりリヤケーブルを取り外す。
8. ケーブル取付ナットを取り外す。
9. 左右のリヤケーブルを車両より取り外す。
10. フロントケーブル取付ナット、ボルトを外しフロントケーブルを車両より取り外す。
11. デバイス ASSY の取付ボルトを外し、デバイス ASSY を車両より取り外す。

### 取り付け

1. 取り外しの逆の手順で行い、取付ボルト及びナットを規定トルクで締め付ける。  
**注意:** パーキングケーブルのセルフロックングナットは再使用不可部品のため、再使用しないこと。
2. パーキングブレーキの調整を行う。

## 点検

JFS00261

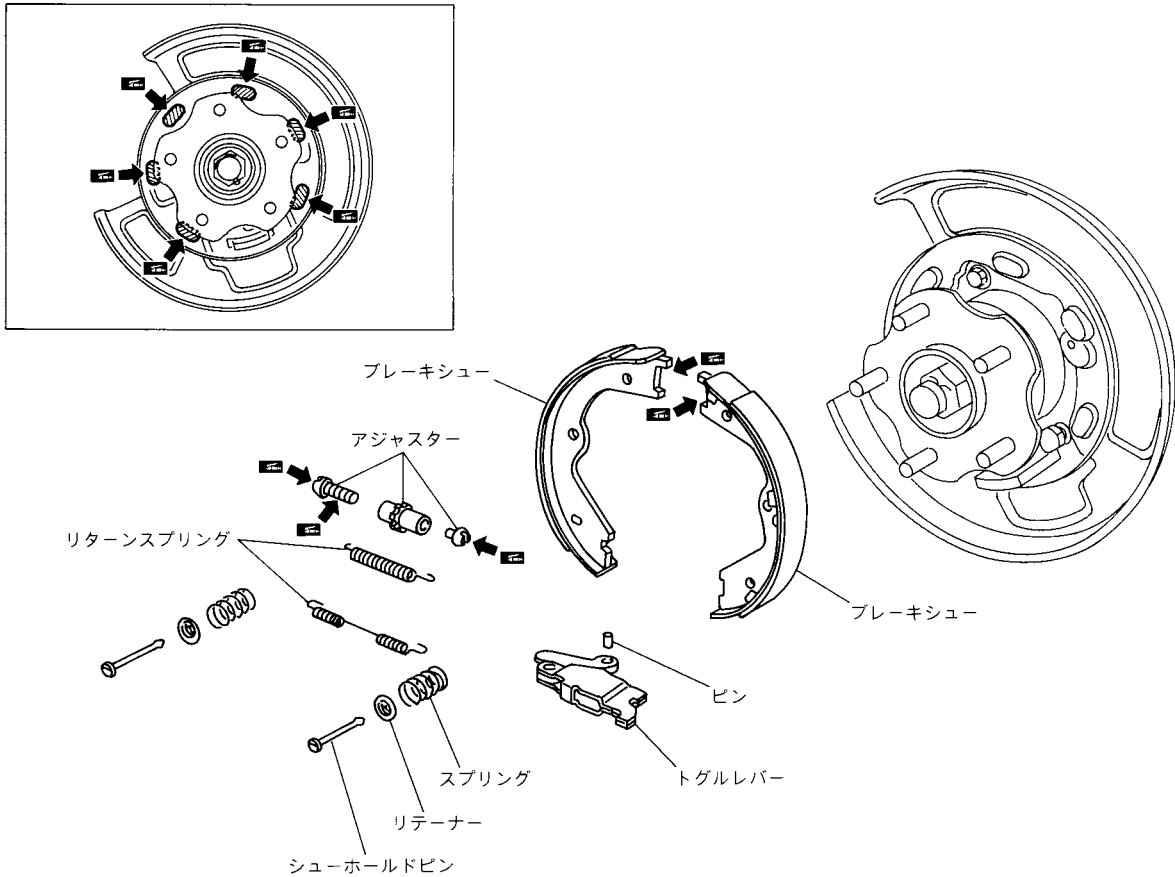
- デバイス ASSY の曲がり、損傷及びひび割れがないか点検し、異常がある場合は交換すること。
- ケーブル及びビコライザー部の摩耗、損傷がないか点検し、異常がある場合は交換すること。
- ワーニングランプスイッチを点検し、異常がある場合は交換すること。
- 各部品を点検し、変形、他部品との接触による損傷がないか確認し、異常がある場合は交換する。

パーキングブレーキシュー

JFS00262

パーキングブレーキシュー

SEC.441



ニッサンブレーキスペシャルグリース(KRF00 0005)

SFIA0203J

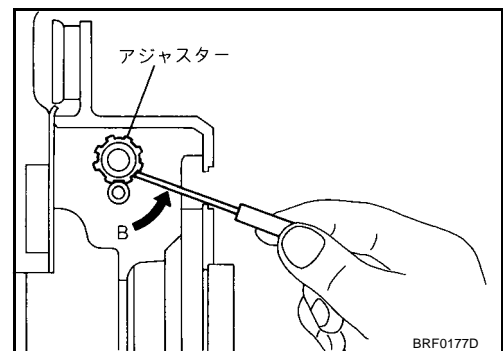
取り外し

**注意：** ディスク及びバックプレート内の粉じんは集じん機で集め清掃すること。また、エアブローなどにより飛散させないこと。

下記作業に注意して行う。

- ホイールを取り外し、パーキングペダルを完全に戻した状態でディスクローターを外す。
- ディスクローターが外れない場合は、下記要領で取り外す。

1. ディスクローターをホイールナットで固定し、ディスクローターのプラグを外し、ドライバーなどでアジャスター ASSY のコマを緩め B 方向に回転させ、広がったシューを縮める。



BRF0177D

# パーキングブレーキ

## 点検

- ライニングの異常な摩耗や損傷、はく離がないか目視などにより点検する。
- ライニングの厚さをスケールなどにより点検する。

標準厚さ : 3.2mm

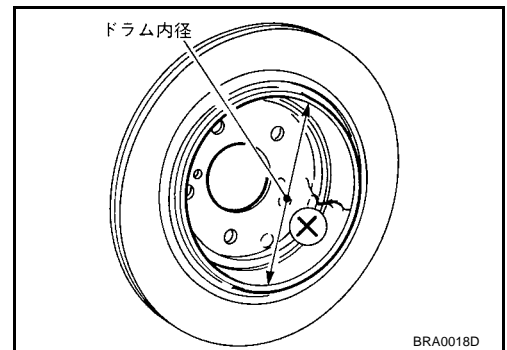
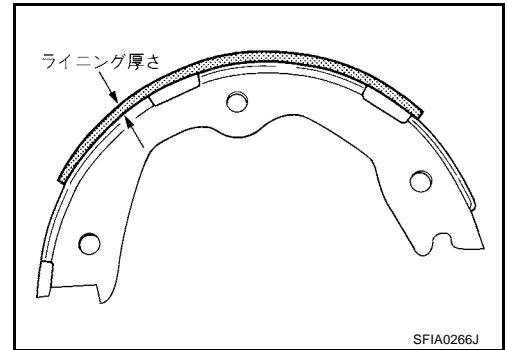
限度厚さ : 1.5mm

**注意:** 必要がある場合には、ブレーキシューを取り外し、次の点検を行う。

- シューのしゅう動部に異常な摩耗や損傷がないか。
- アンカーピンに異常な摩耗がないか、また錆付いてないか。
- リターンスプリングのへたりがないか。
- アジャスターがスムーズに作動するか。
- ドラム内に異常な摩耗、き裂、損傷などが目視又はノギスなどにより点検する。

標準内径 :  $\phi 172\text{mm}$

限度内径 :  $\phi 173\text{mm}$



## 取り付け

下記作業に注意して行う。

- 構成図を参照し、ニッサンブレーキスペシャルグリース (KRF00 00005) を指定個所に塗布後組み付ける。

- アジャスターは左右方向が違うので図のようにアジャスターを矢印方向に回転させたとき、アジャスターのネジ部が拡がるように組み付ける。また、アジャスターは締めた状態で組み付けること。また、アジャスターを分解した場合は、ネジ部にニッサンブレーキスペシャルグリース (KRF00 00005) を塗布すること。

- シュー、ディスクローター交換時及び効き不足を感じた場合は、下記の要領でならしを行う。

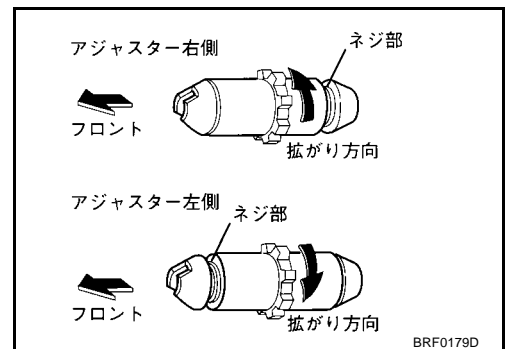
- パーキングブレーキの踏みしるを規定ストロークに調整する。
- 下記条件で実車走行によるパーキングブレーキのならし(引きずり走行)を行う。

### 前進方向

- 車速 約 35km/ 一定 (前進方向)
- パーキングブレーキ操作力 約 148N { 15kg } 一定
- 距離 約 100m
- 実施回数 3 回繰り返す。(合計約 300m)

- 終了後パーキングブレーキの踏みしる点検を行う。規定ストロークを外れる場合は再調整する。

- ライニングが高温になるのを防ぐため、1 回ごと約 5 分間の冷却時間をとること。
- ライニングの偏摩耗や早期摩耗の原因となる可能性があるため過度のならしは行わないこと。



## サービスデータ

### サービスデータ パーキングブレーキ

PFP:00030

JFS00263

型式	DS17HF	
ライニング	標準厚さ（新品時厚さ）	3.2mm
	限度厚さ	1.5mm
ドラム（ディスク）	標準内径（新品時内径）	φ172mm
	限度内径	φ173mm
踏みしろ（操作力 196N { 20kg }）	3 ~ 4 ノッチ	
全ストローク	16 ノッチ	
ブレーキ警告ランプ点灯ストローク	20mm 以内	